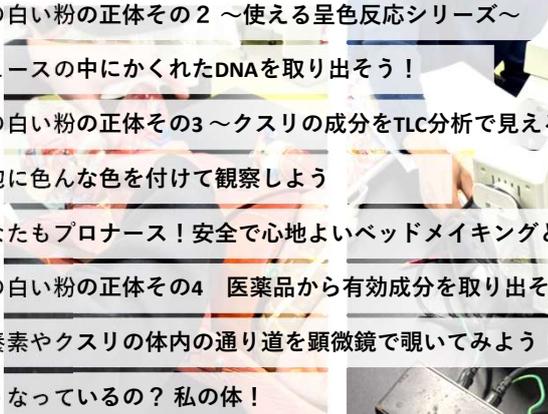
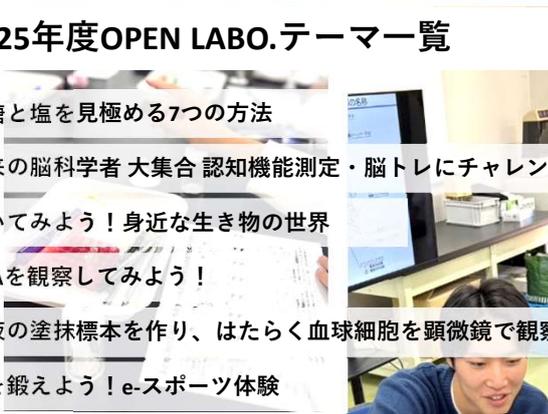


オー
プ
ン
ラ
ボ
新
聞

発行人
StudioNoguchi

あ
り
が
と
う
1
年
間



2025年度OPEN LABO.テーマ一覧

砂糖と塩を見極める7つの方法

未来の脳科学者 大集合 認知機能測定・脳トレにチャレンジ!

覗いてみよう!身近な生き物の世界

DNAを観察してみよう!

血液の塗抹標本を作り、はたらく血球細胞を顕微鏡で観察する

脳を鍛えよう!e-スポーツ体験

あの白い粉の正体その2 ~使える呈色反応シリーズ~

ジュースの中にかくれたDNAを取り出そう!

あの白い粉の正体その3 ~クスの成分をTLC分析で見える化~

細胞に色んな色を付けて観察しよう

あなたもプロナース!安全で心地よいベッドメイキングと持ち上げない移動介助

あの白い粉の正体その4 医薬品から有効成分を取り出そう!

栄養素やクスの体内の通り道を顕微鏡で覗いてみよう!

どうなっているの?私の体!

栄養素やクスリの通り道を 顕微鏡で覗いてみよう！

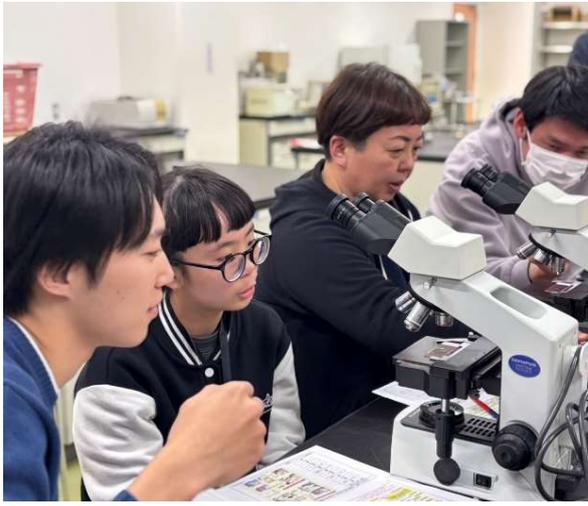
2月1日（日）オープンラボが開催された。担当者はコラーゲン博士こと薬学部竹澤教授だ。栄養素やクスリは血管を通じ全身に広がる。実は毛細血管から離れた場所にも細胞が存在するのだ。この実験では2種類の染色方法の異なるサンプルの顕微鏡観察を行い、血管から離れた細胞へ栄養素やクスリを届ける「なぞ」に迫った。

コラーゲンの役割

皮膚断面を観察すると細胞や血管の間にコラーゲン繊維が網目状に配置されていることがわかる。コラーゲン繊維網が細胞の足場になり、コラーゲン繊維が組織液を浸透させ血管から離れた細胞まで栄養素やクスリを運ぶ通り道にもなることが推測された。来場者らは、皮膚の観察を通じ、生物の奥深さと、なぞを解く楽しさを感じ取った。

参加者の声

▽体のタンパク質の三分の一がコラーゲンということは知らなかった。▽顕微鏡の使い方方を優しく教えてくれたので、わかりやすかったです。▽小さい赤血球を見つけたのでうれしかった。



謝辞

病理組織標本は、佐賀大学医学部 病因病態科学講座 探索病理学分野の教授 青木茂久 先生より御提供頂きました。また、配付資料へ転載した図は、聖隷横浜病院 末松直美先生、日本医療科学大学 白戸亮吉先生、(株)ドクターズプラザ、(株)羊土社、(株)シーエムシー出版より許可頂きました。ここに深謝の意を表します。



どうなっているの？私の体

3月15日（日）本年度最後のオープンラボが開催された。テーマは「私の体」。もっとも身近でもっとも奥が深いテーマを担当するのは保健医療学部の池上教授だ。保健医療学は精巧な人体模型を数多く保有する。今日は、その1つを利用し、人体の仕組みを知ることから始まった。

触れるからこそ

まずは、人体模型をばらす。その後、食べ物の通り道を口から肛門まで順番に並び替えられた。「高校では教科書の知識としてしか教わらないから、今日実際に模型を触って位置関係、大きさなど詳しく知れて、より私の体について深く理解できた！」参加者は実際に触れることで実感を得ていたようだ。



どことどこがつながっているかな？
人体の立体パズルに挑戦する参加者たち

豆知識も

▽心臓が1回ドキンすると、70ミリリットルの血液を送り出せると聞いて心臓の力ってすごいなって思いました。▽ご飯を食べた後は左を下に向けて寝るといいと知って驚きました。▽腸内細菌が66兆個で、体の全細胞46兆個より多いことにびっくりしました。▽大腸は賢い

表彰式

本年度のオープンラボに最も参加した方へ表彰状を送りました。あなたは25年度のオープンラボに多数参加し科学的な視点をもつて真摯に実験に取り組みましたその優れた探求心と自ら学ぶ姿勢を称えここに賞します

